

## 大腸がん検診を受けましょう！

### ■ 急増している大腸がん

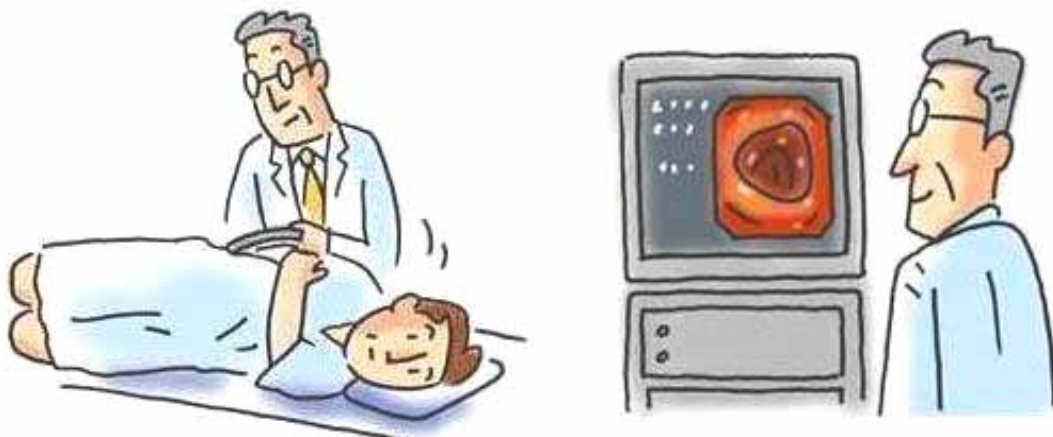
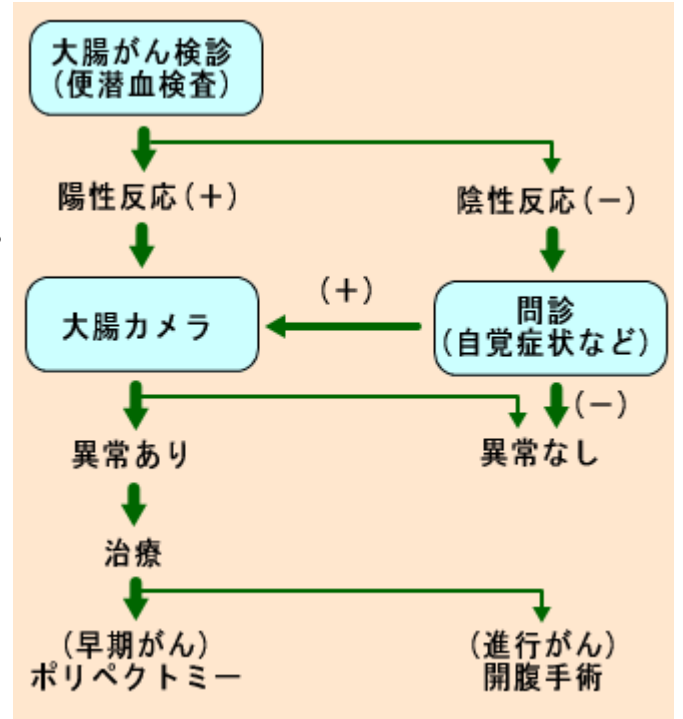
日本人における死因の第1位はがんです。平成18年のがん死亡数は約33万人で、総死亡数の30.4%を占めています。従来、日本人には胃がんが最も多く、大腸がんはむしろ欧米に多い病気でした。ところが、最近では、食生活の欧米化に伴って大腸がんが急激に増えています。大腸がんの罹患者は年間約9万人、死亡者は3万5千人を超えています。

### ■ 症状を当てにしないで定期検診を受けましょう

大腸がんの自覚症状としては、血便、下腹部痛、便秘異常などがありますが、これらはある程度進行した大腸がんの場合です。大腸がんの早期には自覚症状はほとんどありません。したがって、無症状の時期に発見することが大切となります。自覚症状のないうちに大腸がんを見つけるために、便潜血検査が行われます。

### ■ 精密検査と言われたら必ず受けてください

便潜血検査で陽性反応が出て、精密検査が必要と言われても、大腸がんとは限りません。大部分は痔が原因であり、他に大腸ポリープなどで、大腸がんが見つかるのは5%くらいです。精密検査では大腸内視鏡検査を行います。柔らかい細い管を肛門から入れて、大腸の内部を観察します。大腸内視鏡検査は痛くてつらい検査だと思われる人も多いようですが、熟練した内視鏡専門医が行う場合、所要時間も15分程度で、苦痛はほとんどありません。しかも、大腸ポリープは内視鏡を用いて切除することもできます。



当院では検査前処置のための専用準備室を設け大変ご好評をいただいております。また、日帰りの内視鏡的大腸ポリープ切除術も積極的に行っております。お気軽にご相談ください。